



大泉

「人は学ぶ」

「人は変わる」

「人は輝く」

2月号

令和5年2月24日

発行者 新村 紀昭

編集 菊池 知裕

意志あるところに道はある

Where there is a will, there is a way.

副校長 菊池知裕

プロ車椅子テニスプレーヤーの国枝慎吾選手が、先月、現役引退を表明し、今月7日には引退会見を行いました。四大大会(全米、全仏、全豪、ウィンブルドン)では男子の歴代世界最多の50度の優勝、またすべての四大大会とパラリンピックで優勝する「生涯ゴールドスラム」も達成したレジェンドで、世界ランク1位のまま現役を退くということも話題になったので知っているという人も多いと思います。

国枝選手は9歳の時に脊髄腫瘍のために両下肢まひとなり、11歳の時に母のすすめで車椅子テニスを始めたそうです。そして、高校生の時に国際大会を経験したことがきっかけで、本格的に車椅子テニスに取り組むようになり、その後はコーチの指導の下、四大大会やパラリンピックなど多くの国際大会で輝かしい成績を残しました。

そんな国枝選手は、引退会見の中で次のように述べていました。

「……現役生活で何と戦ってきたのかなと考えて、相手と戦う、自分と闘う、もう一つある意味、車いすテニスを社会的に認めさせたい、スポーツとしていかに見せるかってところにこだわってきたというところがあった。……」

つまり、「車椅子テニスをスポーツとして社会的に認めさせたい。」という強い思いが国枝選手の27年間の現役生活の原動力となっていたということです。

2004年のアテネパラリンピックの男子ダブルスで初めて金メダルを獲得したときは、新聞でも報道されましたが、記事が掲載されたのは、スポーツ面ではなく社会面。当時は、「共生社会の実現」といった福祉としての社会的意義の面だけで取り上げられ、スポーツとして扱われることはありませんでした。

周囲から「車椅子でテニスをやって偉いね」と言われたこともあったそうです。国枝選手は言います。「車いすでテニスをやっていることが偉いわけじゃない。目が悪ければ眼鏡をかける。僕は足が悪いから車いすに乗る。その状態でスポーツをするしかない。スポーツ

をしたいというのは、みんなも思うこと。結局、そこに特別なことはない……」

また、錦織圭選手がまだ世界で活躍する前の2007年、ある日本人記者が、当時のプロテニス界のトッププレーヤーのロジャー・フェデラー選手に、「日本のテニス界からは、なぜ世界的に活躍する選手が出てこないのでしょうか？」と質問したところ、「君は何を言っているんだ？ 日本には国枝がいるじゃないか。」と答えたエピソードはあまりにも有名です。

このように、日本ではなかなかスポーツとして認めてもらえないという現実に対して、車椅子テニスの競技としての魅力を積極的に発信し、観客をエキサイトさせるプレーを意識し、圧倒的なパフォーマンスで勝ち続けることが必要でした。その後は、度重なる右肘の怪我とも戦いながら、挫折を乗り越え、2021年の東京パラリンピックでは、男子シングルスで見事優勝、金メダルを獲得しました。

「東京パラリンピックは僕の中ではすごく“スポーツ”ということの手応えを感じました。今まで『国枝』『車いすテニス』『世界一』というのはまあまあ知られていたことかもしれませんが、どういうふうにはプレーしているのか、どんなプレースタイルなのかに関しては、東京パラリンピックまで知らない人がほとんどだったんじゃないか。それが本当に真の意味で伝わったのが、東京パラリンピックの舞台だったと思います」

国枝選手にとって、長年の努力が実を結んだ結果をついに実感できた瞬間(とき)だったのでしょう。

2月21日には、都立高校の第一次・分割前期の学力検査が行われました。また、21日から24日までは校内で第4回定期考査が実施されました。残念ながら、思い通りの結果が出せなかったという人もあるかもしれませんが、たとえうまくいかなかったとしても、改めて自分の目標をしっかりと定めて、決してあきらめず、強い意志をもって自分の努力を継続していきましょう。

「意志あるところに道はある。

Where there is a will, there is a way.」です。

がんばる!! 大泉中生 ～部活動等の記録～

◆吹奏楽部

第8回東京都吹奏楽新人大会B部門 中学校の部 銀賞

第56回東京都中学校アンサンブルコンテスト 銀賞 馬場 夏実 山田 希未 橋爪 真菜
張籠 美月 中山 琴美

◆バドミントン部

令和4年度東京都中学生バドミントン練馬区冬季大会

女子シングルス 第3位 木田 愛里 第5位 楠田 美空
女子ダブルス 第2位 峯岸 弥生 小原 美希

◆陸上競技部

第61回東京都中学校ロードレース大会

男子2・3年 2km競走 第8位 萩 悠人 7分22秒
女子2・3年 2km競走 第6位 鈴木 萌笑 8分11秒

◆卓球部

第32回東京都中学校区部新人卓球大会 女子団体 第3位

第59回練馬区中学校生徒総合体育大会 新人大会 男子団体 第3位

◆ソフトボール部 第3回興津杯選抜女子ソフトボール大会 優勝

◆バレーボール部 練馬区中学校バレーボール1年生練習大会 Bリーグ 第2位

◆サッカー部 第6回ニューイヤークップ 第5位

◆新体操 第42回東京都中学校学年別新人大会 第5位 武川 心虹(1-3)

◆第57回 練馬区中学校連合ダンス発表会 題名 四季 1年2組

◆第55回 金融広報中央委員会主催

「おかねの作文」コンクール 秀作 宮澤 朋希(3-5)

◆第70回 練馬区小中学校連合書きぞめ展 出品

保谷 和那(1-1) 遠藤 真衣(1-1) 中田 夕鶴(1-1) 西田 愛加(1-4)
坂田 梨乃(2-1) 中村 合歓(2-2) 高沼 幸奈(2-3) 長弓 広佑(2-6)
齋須 徹平(3-1) 遠藤 雪菜(3-2) 山根 陽奈(3-5) 田中 聡 (3-6)



春に向けて花を植えています！

園芸部では、新しく購入した球根と草花をプランターや中庭、正門の両側に植えています。また、夏期に掘り起こしたチューリップ（この春に咲いた）などの球根も小さな柵を作って植える予定です。卒業式、入学式に綺麗な花を咲かせたいと思っています。尚、昨年度から球根や草花の多くは東京都都市緑化基金（東京都公園協会）の助成を受けています。

（写真：この春の中庭の様子です）